

保健師

郡山保健所

かわち ゆうすけ
河内 佑介さん

河内さんのこれまでの経歴

看護師を目指して看護大学へ進学し、卒業後は病院で看護師として4年間勤務。その後、保健師へ転職。

市町村の保健師を3年勤めた後に、現在は県の保健師として郡山保健所に勤務。

保健師歴:4年



この仕事を選んだきっかけは？

中学生の頃は看護師を目指していました。看護大学に入り、看護師になるための実習をしている時に保健師という仕事を知りました。大学を卒業して、病院で看護師として働けなかつた中で、ケガや病気を治すことよりも、病気などの予防に関わる仕事をしたいと思うことがありました。そのことがきっかけとなり、“地域で生活する人の健康を支えることができる仕事”は何かと考え、より多くの方の予防や健康づくりに関わることができる、保健師になろうと思いました。

この仕事をしていてやりがいを感じることは？

保健師は、地域の方の健康に関する相談やアドバイスをおこなっています。対象は、赤ちゃんから高齢者の方まで、すべての県民です。私たちの仕事は本人だけでなく、その周りにいる方の精神的なケアも必要で、難しいと感じることも多いですが、自分自身の成長につながり、学ぶことの多い仕事に改めて魅力を感じています。

その人らしく生活できるためには何が必要で、どうしたらいいかを考えていくことが基本です。そのためには他職種や関係機関との連携が大切で、“点と点をつなぐ”ことができ、対象者の地域での生活を支えていくことができた時にやりがいを感じます。



(高齢者施設での研修会)

河内さんから中学生のみなさんへメッセージを！

男性の保健師は1994年に初めて誕生したところで、まだまだ認知度は低いですが、女性保健師とはまた違った視点で保健活動ができればと思います。保健師は多くの県民との出会いや、仲間との仕事の中で自分自身を大きく成長させ、豊かな人間性を育むことができる仕事です。県民の皆さんの健康を守るために、一緒に働きましょう。



上司の方から中学生のみなさんへメッセージをお願いします

保健師の仕事は、地域で暮らしている人々が健康的に、その人らしく暮らすためのサポートを行っています。このたびの東日本大震災では、いち早く現地に向かい、めまぐるしく変わる地域の人たちの健康面や衛生面のニーズに柔軟に対応し、支援を続けました。このように災害時や地域で起こる健康問題が解決するまでの継続的な支援を行う大切な仕事です。自分たちの住んでいる地域を、医療・保健・福祉と連携しながら、一緒に見直してみませんか。

勤務先：郡山保健所

大和郡山市満願寺町60-1 県郡山総合庁舎内 北側1階

郡山保健所ホームページ

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1730htm

県保健師総数：69名（うち男性1名）

